

第2回 北アルプス広域連合一般廃棄物処理施設建設予定地選定会議 [議事録]
(現地見学)

【日時】 平成24年10月26日(金) 八方候補地 14:30~15:00
川上候補地 15:15~15:40

【出席者】

広域連合長(大町市長) 牛越 徹 (議長)
広域副連合長(白馬村長) 太田 紘熙
広域副連合長(小谷村長) 松本 久志

(学識経験者)

信州大学名誉教授 土田 勝義
公害技術センター環境計画部主任研究員 杉本 淳
日本環境衛生センター環境工学部技術審議役 速水 章一

(行政関係者)

大町市民生部参事 勝野 稔
白馬村環境課長 丸山 勇太郎
小谷村住民福祉課長 横澤 勲

(事務局)

広域連合所長 宮坂 佳宏

【議事の概要】

1 開 会

(事務局)

皆さん、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

私は、本日の進行をさせていただきます、北アルプス広域連合所長の宮坂佳宏と申します。よろしくお願いいたします。

まずはじめに、選定会議の議長である北アルプス広域連合長の牛越徹から、ひとことご挨拶申し上げます。

2 あいさつ

(議長)

本日は第2回の選定会議をご案内申し上げたところ、学識経験者の皆様には、大変お忙しい中、月曜に引き続きこの大北地域へお越しいただき、厚く御礼申し上げます。本日は白馬村の八方地区、それから小谷村の川上地区からそれぞれ推薦いただいた残り2か所の建設候補地の現地見学を行います。

す。候補地をご覧いただき、それぞれご専門の立場から候補地の絞り込みにつきましてご助言などをいただきますようお願い申し上げます。また、担当の職員の皆さんには、お忙しい中ではありますが、選定会議の現地見学をそれぞれサポートいただきますようお願いいたします。

どうぞよろしくお願いいたします。

4 現地見学

○ 八方候補地にて

(事務局)

それでは、事務局から本日の日程等についてご説明をさせていただきます。

(事務局)

北アルプス広域連合ごみ処理広域化推進係の西山孝と申します。

本日は、広域連合に推薦いただいた6か所の候補地のうち、白馬村と小谷村の2か所の現地見学を予定しております。最初に見学いただくのが、お手元のA3判カラーの地図にございます2番の白馬村八方候補地。その後、1番の小谷村川上候補地にご移動いただく予定です。なお、1番から6番までの候補地の番号は、北から順に付けてございます。学識経験者の皆さんは、2か所の現地見学終了後にお帰りいただきます。交通機関の関係もありますので、概ね午後3時45分までには終了とさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

現地見学の後、正副連合長3名には、小谷村にありますクリーンコスモ姫川の会議室にて、川上候補地の地元住民の代表の方々と意見交換いただく予定です。会場は、当初、梨平集落基幹センターを予定しておりましたが、駐車場のスペース関係もありまして、地元集落への配慮から、川上候補地のすぐ北側にありますクリーンコスモ姫川に変更させていただいております。併せて、開始時間も当初より30分早くさせていただきました。

また、この意見交換につきましては、候補地受け入れに併せて提案いただいております地域振興策などについて直接ご意見を伺う予定としておりますことから、前回と同じく地元に対する配慮から非公開とさせていただきますので、ご理解いただくようお願い致します。

なお、移動の途中、非常に狭くて交互通行しかできないようなところもございますので、お集まりの報道関係の皆さまも含め、安全運転にくれぐれも留意してご移動いただくようお願いいたします。

事務局からは以上でございます。

(事務局)

それでは、白馬村より説明をお願い致します。

(白馬村：丸山課長)

白馬村環境課長の丸山です。八方候補地の概略について説明させていただきます。今お集まりいただいている場所は、ちょうどお手元の地図にあります白馬山麓清掃センターと書かれているところになります。こちらの白馬山麓清掃センターは昭和60年に稼動した施設で、現在、白馬村と小谷村から発生する可燃ごみを焼却しています。候補地はこの施設の敷地を含む約1.2ヘクタールで、地図上の太線で囲まれた部分です。北側には一級河川の松川が流れていまして、目の前の村道が松川を渡る白馬大橋は、白馬の山並みなどの眺望が良いということで、日本の道100選に選ばれています。南側は、県道の向こうに民宿や観光施設などが集まっており、八方地区の中心部になります。村道を

挟んだ反対側は「ふれあいの杜」という名前の公園で村が管理しております。地元の皆さんからは、新しい施設を受け入れる際には、候補地と、この「ふれあいの杜」を含む候補地周辺一帯の公園化という要望をいただいています。候補地の大半は、ご覧のとおり林となっていて、その中に木流川という小さな川が流れております。以上、概略を説明させていただきました。

それでは施設の裏手側から候補地を一周しながらご覧いただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

[候補地内を移動しながら現地確認]

(事務局)

この他、何かご質問、ご発言がなければ、次の小谷村川上候補地に移動をお願いします。

○ 川上候補地にて

(事務局)

それでは、川上候補地について小谷村より説明をお願いします。

(小谷村：横澤課長)

小谷村住民福祉課長の横澤です。よろしくお願ひします。今立っているところが小谷村の最南端です。あちらに見えているSPF豚の豚舎が建っているのが白馬村の最北端で、ちょうど建物との間に村境があります。それから、すぐ西が姫川で、対岸が白馬村、こちら側が小谷村になります。候補地は、村境、姫川、JRの線路に囲まれています。ご覧のように細長い地形になっていますが、候補地のエリアとしては村境から約200m離れています。入り口にありましたクリーンコスモ姫川という白馬山麓環境施設組合のし尿処理施設までは村道となっておりますが、そこから先は、SPF豚の飼料を運んだり、工事車両が通ったりしていますが、道の位置付けはなく、原っぱにアスファルトを敷いた上を走っているという状況です。東側の耕地部分は個人所有になっていて、この状態がクリーンコスモ姫川まで約1km近くにわたって続いています。地域振興策も考慮して、長さ200m程度のエリアを候補地としております。個人所有の土地も合わせますと約2,000平方メートル近くございます。残りは河川敷になっておりまして、スペース的に苦しくなれば、この先、県等との協議が必要となってまいります。ただし、公図上ではそのような面積になるのですが、実測されていませんので、あらためて確認が必要かと思ひます。最も近い人家は、対岸の白馬村の立の間地区になります。小谷村の川上地区には、この北に梨平、滝ノ平、坪ノ沢の3つの小さい集落がありますが、ここからは見えません。あちら（北北西の対岸）に少し見えるのは梅池地区の川内という集落になります。この候補地に施設が建った場合に見えるのは、この川内集落と白馬村の立の間地区になります。近くに住居が無い反面、上水道については、クリーンコスモ姫川から敷設しなければなりません。ここまで直線距離で約500mあります。地下水については掘ってみたことがないのでなんとも言えませんが、沢水も利用できるかと思ひます。

以上、概略を説明させていただきました。よろしくお願ひします。

[候補地内を移動しながら現地確認]

(事務局)

それでは、ここで本日の現地見学は終了ということによろしいでしょうか。

これで6か所全てご覧いただいたということで、お忙しい中ありがとうございました。では、議長よりひとことお願いします。

(議長)

大変お疲れさまでした。これをもちまして本日の2回目の現地見学を終了したいと思います。

特に学識経験者の先生方におかれましては、一週間間に全6か所の候補地をご覧いただきました。大変タイトなスケジュールにも関わらずご参加いただき、厚く感謝申し上げます。

来月から本格化します第3回の選定会議以降は、いよいよ実質的な審議となります。学識経験者の皆さまには、ご覧いただいた6か所の候補地の絞り込みに当たり、ご専門の分野からの確なご助言を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、それまでの間、検討に必要な様々な行政情報などの資料がありましたら、ご遠慮なく私ども選定会議の事務局であります北アルプス広域連合の総務課まで申し伝えください。できるだけ調整をして資料をお届けしたいと思います。次回以降、地域の熱意が込められた6か所の推薦をしっかり受け止めて、そして適地を選定するよう作業を進めてまいりますので、引き続き、ご理解とご指導、そしてご協力をよろしくお願い致します。

本日は誠にありがとうございました。

[川上候補地の現地見学終了]